

科目名：歯科予防処置Ⅳ〈口腔疾患予防〉		必	1単位 (45時間)	
(Practice of Oral Prophylaxis IV 〈Prevention of Oral disease〉) 履修年次/時期：2年次 後期 授業形態：演習 担当教員：関端麻美(実務経験有)、中向井政子(実務経験有)、田島小百合(実務経験有)、劉彦君(実務経験有)				
学修目的	口腔の疾患を予防し、人々の健康を維持・増進させるために必要な専門知識、技術を修得し、実践する能力と力を養う CP(2・3・4・5・6)に関連する。 科目 No.S2C1OH13			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。		
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○：この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 医療面接により適切に情報収集ができる。 2. 口腔内の観察を行い、適切な記録ができる。 3. 歯科衛生士に必要なスクリーニングと検査ができる。 4. 必要な器材の準備ができる。 5. 安全かつ適切な歯石除去の操作を相互(学生同士)に修得する。 6. 安全かつ適切な歯面研磨の操作を相互(学生同士)に修得する。 7. 安全かつ適切な超音波スケーラーの操作を相互(学生同士)に修得する。 8. 安全かつ適切なエアスケーラーの操作を相互(学生同士)に修得する。 9. 安全な操作のため器材の点検ができる。 10. スタンダードプリコーションに基づいて、感染予防に留意して実施できる。 11. 歯科衛生業務記録を作成できる。 12. 患者に適切に対応できる。			
授業概要	歯科予防処置Ⅰ～Ⅲに続いて、より安全かつ適切な操作技術を確立するとともに、歯科衛生士としての専門知識・技術の向上に努める。相互実習を通して、患者への適切な対応法および業務記録作成する能力を身につけ、臨床実習での実践に繋げていく。口腔内の状況の把握および口腔疾患予防のための歯科予防処置法について相互実習で繰り返し体得する。また、超音波スケーラー、エアスケーラーなどの器械を用いた口腔管理の技術を相互実習により修得する。			
評価方法	筆記試験 70% 実技評価、提出物、演習参加態度、ルーブリック 30%で総合評価を行う。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・	【予習】0.1			

復習時間	【復習】0.1
教科書	歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』
参考書	歯科衛生学シリーズ『歯科診療補助論』 歯科衛生学シリーズ『歯周病学』
お問い合わせ 連絡先	<p>関端麻美 月～金 16:30～17:00 sekibatai@kdu.ac.jp</p> <p>中向井政子 月～金 12:20～13:00 16:30～17:00 nakamukai@kdu.ac.jp</p> <p>田島小百合 月～金 16:30～17:00 tashimai@kdu.ac.jp</p> <p>各教員とも事前にメールをいただくと確実に対応ができます。</p>

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2 A (/) B (/)	歯面研磨 ①歯面研磨に必要な器材を理解する。 ②歯面研磨の目的と手技を理解する。 ③口腔内で安全に歯面研磨の操作ができる。 ④清潔・不潔の識別ができる。 ⑤生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。	[キーワード] 歯面研磨, RDA 値, 歯面研磨剤, コントラアングルハンドピース, カップ, ブラシ, PTC	演習 ○関端 中向井 田島
3・4 A (/) B (/)	口腔内診査① ①器具・器材の滅菌消毒や準備ができる。 ②歯周組織検査の目的および診査方法について理解する。 ③学生相互に歯、口腔（歯、歯肉、歯の付着物や沈着物、修復物、補綴物）の状態を観察する。 ④探針や歯周プローブを用いて歯面や歯周ポケットを適切に診査できる。 ⑤口腔内写真を撮影することができる。 ⑥歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。	[予習] 教科書：P.117～119、133～151 前回までの講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。 [復習] 修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。 [キーワード] 歯周組織検査、把持法、フローピング 圧、挿入方法、スクリーニング、口腔内写真撮影	演習 ○田島 関端 中向井
5・6 A (/) B (/)	口腔内診査② ①器具・器材の滅菌消毒や準備ができる。 ②歯周組織検査の目的および診査方法について理解する。 ③学生相互に歯、口腔（歯、歯肉、歯の付着物や沈着物、修復物、補綴物）の状態を観察する。 ④探針や歯周プローブを用いて歯面や歯周ポケットを適切に診査できる。 ⑤口腔内写真を撮影することができる。 ⑥歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。	[予習] 教科書：P.117～119、133～151 前回までの講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。 [復習] 修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。 [キーワード] 歯周組織検査、把持法、フローピング 圧、挿入方法、スクリーニング、口腔内写真撮影	演習 ○田島 関端 中向井
7・8 A (/) B (/)	相互スケーリング・歯面研磨① ①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別ができる。 ②上下顎前歯部にハンドスケーラーの操作ができる。 ③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。 ④スケーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。 ⑤スケーリングと歯面研磨の操作を復習し、安全で確実なものにする。	[予習] 教科書：P.185～202、222～228 講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。 [復習] 修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。 [キーワード] 口腔内診査、把持法、スケーラー操作、	演習 ○関端 中向井 田島

	<p>⑥清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>歯面研磨、ブラシ・ポイント類、 清潔・不潔</p>	
<p>9・10</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>相互スクーリング・歯面研磨②</p> <p>①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別ができる。</p> <p>②必要な部位（上下顎臼歯部）にハンドスクレーラーの操作ができる。</p> <p>③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。</p> <p>④スクーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。</p> <p>⑤スクーリング、歯面研磨の手順と技術に習熟する。</p> <p>⑥清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.185～228</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>口腔内診査、把持法、スクレーラー操作、歯面研磨、ブラシ・ポイント類、術者磨き、清潔・不潔</p>	<p>演習</p> <p>○関端</p> <p>中向井 田島</p>
<p>11・12</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>相互スクーリング・歯面研磨③</p> <p>①口腔内を観察し、健全歯、修復・補綴、歯石の有無の識別ができる。</p> <p>②ハンドスクレーラーの操作に習熟する。</p> <p>③部位に応じて、適切な歯面研磨法を選択し実施できる。</p> <p>④スクーリング、研磨操作における適切なミラー操作ができる。</p> <p>⑤スクーリング、歯面研磨の手順と技術に習熟する。</p> <p>⑥清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.185～228</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>口腔内診査、把持法、スクレーラー操作、歯面研磨、ブラシ・ポイント類、術者磨き、清潔・不潔</p>	<p>演習</p> <p>○関端</p> <p>中向井 田島</p>
<p>13・14</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>パワースクレーラー操作①</p> <p>①口腔内の診査と記録が適切にできる。</p> <p>②超音波スクレーラー・エアスクレーラーの基礎知識と基本技術を復習する。</p> <p>③超音波スクレーラー・エアスクレーラーの適切な操作法を相互に体得する。</p> <p>④SUS ブラシの特徴と使用方法の基礎を理解する。</p> <p>⑤歯周ポケットのイリゲーションについて知識を復習しシリンジによるイリゲーションを模型上で行う。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.209～220</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>磁歪式、電歪式、振動、インサートチップ、使用角度、ストローク、キャビテーション、イリゲーション、エアロゾル、適応禁忌</p>	<p>演習</p> <p>○中向井 関端 田島</p>
<p>15・16</p> <p>A (/)</p>	<p>パワースクレーラー操作②</p> <p>①口腔内の診査と記録が適切にできる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.213～215</p>	<p>演習</p> <p>○中向井</p>

B (/)	<p>②エアスケーラーの基礎知識と基本技術を修得する。</p> <p>③エアスケーラーの操作法を相互に体得する。</p> <p>④SUS ブラシの特徴と使用方法を知る。</p> <p>⑤メンテナンスについての理解を深め、実施することができる。</p>	<p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>インサートチップ、使用角度、ストローク、圧縮空気、振動数、適応禁忌、SUS ブラシ</p>	<p>関端 田島</p>
<p>17・18</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>PTC</p> <p>①PTCに必要な器材を理解する。</p> <p>②PTCの目的と手技を理解する。</p> <p>③口腔内で安全にPTCの操作ができる。</p> <p>④清潔・不潔の識別ができる。</p> <p>⑤生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[キーワード]</p> <p>RDA 値、歯面研磨剤、コントラアングルハンドピース、カップ、ブラシ、PTC</p>	<p>演習 ○関端 中向井 田島</p>
<p>19・20</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>歯面清掃器</p> <p>①歯面清掃器の特徴と使用方法を知る</p> <p>②歯面清掃器の操作ができる</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.100～119</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>エアポリッシャー</p>	<p>演習 ○中向井 関端 田島</p>
<p>21・22</p> <p>A (/)</p> <p>B (/)</p>	<p>総合実習</p> <p>①器具・器材の滅菌消毒や準備ができる。</p> <p>②歯周組織検査の目的および診査方法について理解する。</p> <p>③学生相互に歯、口腔（歯、歯肉、歯の付着物や沈着物、修復物、補綴物）の状態を観察する。</p> <p>④探針や歯周プローブを用いて歯面や歯周ポケットを適切に診査できる。</p> <p>⑤口腔内写真を撮影することができる。</p> <p>⑥患者の口腔内に応じて適切な歯科保健指導ができる。</p> <p>⑦歯科予防処置実施にあたり、生体への配慮（感染予防、偶発事故の防止）ができる。</p>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.185～227</p> <p>講義資料やノートを読み、ポイントを整理する。</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>医療面接、口腔内診査、口腔内写真撮影、スケーリング、歯面研磨、業務記録</p>	<p>演習 ○田島 関端 中向井</p>